



題字 初代学長・森本静子先生

第 63 号

ふたたび

同窓会の現状について

会長 能村 佳子

今年は東京オリンピックの開催もあり、日本にとって活気ある年になる筈でしたが、新型コロナウイルスの感染により世界中が思いもよらない状態に陥り、同窓会としても、〇の会の延期、理事会、代議員総会の中

止など、予定の変更をせざるを得ないことになっております。前号で同窓会の現状をお伝えし、皆様からご感想やご心配を頂きましたが、今回はその後についてご説明致します。

昨年9月25日に学園新理事長の平岩国泰氏より顔合わせのご連絡を頂き、林徹常務理事と石井裕子理事とともに、初めて理事長が同窓会室に御来室くださることが実現致しました。

また、今年の2月17日にも、新年のご挨拶にいらしてくださいました。(1月にご連絡いた



でも今まで通り続けることができ

りお願いを繰り返しております。その際の話題は、学園からは教育方針の変更及びそれに伴う教職員の入れ替わり、百周年記念の寄付を在校生、同窓生にお願いすることでした。

同窓会側からは、かねてよりお願いを繰り返しております。会費の代理徴収についてでした。今現在は、任意での振り込みを保護者様宛にお願いし、平岩理事長にも協力をお願いするお手紙を書いて頂き、同封してお送りしておりますが、残念ながら期待ほどの結果が見えませんが、やはり他校がそうしているように、学園が入学時の納入費の中に同窓会費を組み込んでいくことで、同窓会が救われるだけでなく、各校への教材の寄付も今まで通り続けることができ

とあります。学園理事会において是非ご検討の上、可決して頂けるよう、実現するまでは何

度でもお願いする所存です。林常務理事からは月に一度

くらいは話し合う機会を持ちましょうと言っており、既に数回の話し合いをしておりま

すので、学園と同窓会が元のよ

うに歩み寄ってご相談ができれば、最良の結果になると期待し

ております。また、「泉」の会計報告に財産として凡そ一億円の記載があるので、会費が入らなければそれを

使えば良いのではとお思いかもしれません。そのお金は同窓会の運営を末長く継続する為の

ストック分、崩して使ってしまう訳には参りません。どうぞその

点を御理解頂きたいと思っております。現在同窓会でボランティアとして働いてくださっている方々が段々高齢になって参りました。子育てが一段落なさってお手伝

い頂ける方々に協力をお願いしたいと思っております。ボランティアです。お給料は出ませんが、交通費程度は出ますし、ご都合

のつく日だけで結構です。主に議題について相談という形です。ので、馴れる迄は積極的な発言を求めることはあります。

一ヶ月に一回程度参加して頂ければ、お役に立って頂けます。お気持ちがある方は、同窓会事務局にご連絡を頂き、ご相談したいと思っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

毎日のニュースでは、新型コロナウイルスの蔓延により尊い命が失われ、胸が痛みます。一日も早い収束と、会員の皆様が感染されることなく、この試験の時を乗り越えられますよう祈るばかりです。

(写真は、4月3日の打ち合わせ会。マスクして、窓を開けて、離れて集まりました。)

同窓会事務局でお仕事しませんか

同窓会事務局で

お仕事しませんか

同窓会では、PC経験者を至急必要としています。仕事の内容は、名簿管理、資料作成などです。

● 募集人員 若干名

● 出勤日 月・水・金

● 勤務時間 10時～15時

● (出勤日、時間は応相談)

● 時給 一、一〇〇円

● 交通費 支給

● ボーナス 年二回

ご希望の方は、月、水、金の10時から15時の間に、左記までお気軽にお電話ください。同窓会事務局 鈴木とよ子

○ 三六三八二一八六一四

二〇二〇年3月卒

新幹事紹介

小学校

石田 怜 長 佳凛

大坂 柊人 山崎 紬希

曾我 桃子 富田 裕士

猪俣 晴一 藤巻 佑菜

伊藤 しずく 齋藤 佳穂

高橋 知世 矢野 沙弥香

谷口 菜菜 畑野 安南

榎本 佑太 堀江 翔真

短大(生活)

短大(臨検)

二〇一九年度代議員総会

副会長 河原 英一

二〇二〇年5月23日(土)に予定していた代議員総会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とさせて頂きました。オリピックイヤーの二〇二〇年に入ってから、新型コロナウイルスの影響で「〇の会」や第一回理事会も開催中止となり、特に理事会は昨年度事業報告及び決算承認など重要議題も書類を各理事に郵送するなど工夫して実施しました。

また、代議員総会をもって任期満了となる全役員はこのような状況から全員再任し、活動していくことも報告いたします。なお、本誌制作中、4月7日より新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言がなされ、三密(密閉、密集、密接)を避けることや外出自粛が東京都より強く要請されており、また緊急事態宣言解除の見込みも立っておりません。そこで、本年度の予算および事業計画を年度初めには決定せずに、昨年度の実績をできる限り踏襲しつつ、同窓会の運営を行う所存です。

第二回 〇の会

開催延期

副会長 富士ひろみ

二〇二〇年2月22日に行う予定でした「〇の会」を新型コロナウイルス感染拡大の影響で、急遽延期することに致しました。今回も八十名近い卒業生から参加のお返事を頂き、準備を進めていましたが、開催二日前に延期の連絡を致しました。

その際には、今回参加申し込みを頂いた方々にはお知らせ致します。昨年参加された方には「とても良い企画だった」と喜んで頂きましたので、「〇の会」は今後も続けていく所存です。

日々状況が変わっており、11月頃に開催したいと存じます。

2019年度会計報告(要約)

貸借対照表		経常増減の部	
Ⅰ. 資産の部		経常収益	
流動資産の合計	136,849,146	年会費収入計	4,335,001
固定資産の合計	1,162,000	寄付金収入	727,000
資産合計	138,011,146	事業収益	935,500
Ⅱ. 負債の部		雑収益	2,546
流動負債	1,752,981	経常収益計	6,000,047
固定負債	0	経常費用	
負債合計	1,752,981	事業費	3,441,637
Ⅲ. 正味財産の部		管理費	3,577,546
正味財産合計	136,258,165	経常費用計	7,019,183
負債及び正味財産の合計	138,011,146	当期経常増減額	△ 1,019,136

二〇一九年度にお知らせをいただいた物故者
謹んでおくやみ申し上げます

年度・校氏名(旧姓)	年齢	職業	備考
河本 泰二	37	短	秋山 陽子
小池 朋子(相川)	38	短	山口ミチ子(笹木)
飛田 君代(小田喜)	39	短	坂本百合子(岡)
清水 洋子(渡辺)	41	短	氷見真智子
福岡美恵子(原田)	42	短	栗田 房子(高島)
杉田 章子(内桶)	42	短	林 恵子(田中)
萩原 光子(春山)	42	短	松田 茜
小菅よし江(高橋)	42	短	佐藤 春枝
早川 順子(早川)	42	短	岡本 治子(柏田)
望月 武子(鈴木)	42	短	保坂ふみ子(佐川)
佐藤由美子(梁川)	42	短	中村 幸江(鈴木)
小林 恭子(笠井)	42	短	仲西 郁代(山下)
原田 妙子(田中)	42	短	松林英美子(渡部)
山元千恵子(笠原)	42	短	吉沢ひろみ
村田 ミエ(早乙女)	42	短	山本美代子(今永)
小泉かをる(当麻)	42	短	本間 みつ(高柳)
石崎 富子(田中)	42	短	福田 春枝(和田)
片岡 久子(森川)	42	短	石川眞留栄(清野)
細野登志恵(齋藤)	42	短	鈴木 治子
堀越 満枝(金子)	42	短	甲斐 道代
境 とし	42	短	菅 和子(田中)
本間 ミツ(本間)	42	短	志村 照子(鈴木)
秋元 美子(秋元)	42	短	大杉 節子(小野寺)
矢倉 益代(藤田)	42	短	
山崎さち子(山崎)	42	短	
相良 淑子(鈴木)	42	短	
中島 和子(佐藤)	42	短	
石井ウメ子(井野)	42	短	
岡田 睦(桑本)	42	短	
渡辺 孝子(石川)	42	短	

ご寄付御礼

二〇一九年度、同窓会活動充実のためご寄付(一口千円)をお願いしましたところ、百六十二名の会員各位より合計金七十二万七千円のご寄付をいただきました。以下に、お名前を記して感謝の意を表します。

同窓会役員一同

木山たつえ	池田真由美	永井美都子	榎谷純子
渡部敏子	小宮山寿々子	岡田節子	吉松和子
木藤和代	奥住捷子	川島貴美	中川久美
中坂三津恵	大野幸子	大山紗栄子	河越茂子
栗原淑子	剣持千鶴	後藤慶子	山本紀子
金子英由	並木美子	前田節子	市丸裕子
鈴木典子	池間孝枝	藤森香代子	清田克子
甲斐東子	氏家幸	柴田ミヨ子	藤原芳江
伊藤健太	保谷和子	清水麗子	富士ひろみ
渋谷まさみ	青木恵子	黒澤教子	平尾幸子
須藤充子	長岡順子	志田瑛子	小場美佐子
宮川佳節子	竹内治子	杉崎和江	榎本慶子
五十嵐由貴	浅井節子	岳ユキ子	川村留美江
中川令子	浜本いつみ	宮沢洋	吉野直子
小原恵美子	稲沢伸子	陶山留美	中津朔子
石井康子	谷川節子	小池智子	高橋芳子
別府康子	西浜節子	任田和世	金原修
長谷川早紀	佐取美智子	湯浅和代	佐藤亮子
石川眞留栄	楠橋静江	植松由利子	佐伯富美子
岩見定女	笹本美園	千葉美保子	西村恵理子
伊藤美和子	吉牟田知子	小谷津敏恵	新堀可寿子
山田栄子	岩城節	植田智子	須藤瞳
佐藤淑江	伊東孝子	星律子	戸田愛子
秋元通子	石関悦子	藤本美恵子	道家恭子
吉瀬絵利	嶽山富美江	有浦良子	吉村早苗
山口ミチ子	高山武子	木工本美智子	北崎洋子
山崎愛子	澤木静子	松本悦子	井之下才文
一ノ倉環子	佐藤まり子	神崎キワ子	斎藤文恵
宮島篤子	辻喜代子	加藤栄理	加藤朋子
大澤結穂	小林芙美枝	渡辺信子	加藤まゆみ



そるいのエプロン。



売店風景。



駄菓子屋さん。



ポップコーン売り(シニア)



ポップコーン売り(ジュニア)

新渡戸祭に参加

二〇一九年の新渡戸祭(学園祭)は10月26日(土)、28日(日)の二日間、晴天に恵まれて開催されました。同窓会では、喫茶部、駄菓子屋さん、ポップコーンなど、例年通り参加いたしました。

宇井新子	浦井悦子	内山明子	宇田川弥生
法性琢子	畑垂矢子	高田直樹	田邊朋恵
山田芙美子	高橋めぐみ	松井朝子	明壁晶子
武宮久美子	池崎優日	橋本禮子	植木諒子
櫻田恵子	市川和子	永沢千代子	福島叶大
岩戸康次郎	永島淀子	林田美津子	小林由美
桑鶴美智子	青木純子	北村尚子	松田康子
雨宮朋子	太田匡子	井上喜久代	印宮みどり
五十嵐千代子	小林博枝	長尾涼子	西村美智子
竹谷純子	渡部睦子	須藤珠実	清水弥生
原田篤子	高山春子		(敬称略)

新成人を祝う会



二〇二〇年1月11日16時30分より、第二カフェテリアで同窓会主催の新成人を祝う会が開催されました。参加者は五十七名でした。次のように小学校卒業生の代表および中高卒業生の代表のあいさつがありました。

小学卒業生の代表挨拶

今日は、小学校五十九期生のために、このような素敵な会をお開きくださりありがとうございます。

高校を卒業し、大学に入学する前の二年前の3月に同窓会を開催したのが遠い昔のように感じられます。

今日は、その時よりもたくさん友人に会うことができ、嬉



芝浦工業大学
環境システム学科
村野百佳

しかったんです。小学校卒業以来、八年間会っていませんでした。すごく見た目が変わってしまっていたかわからないのですが、小学生の時の面影を残したまま、大人になっており、すぐに分かり不思議でした。

明後日私たちは、成人式を迎えます。各自、自分の目標に向かって進んでおります。困難な道に突き当たることもあると思いますが、月曜日の一時間目の礼拝で培った聖書の教えや、新渡戸先生の「武士道」や、「強く、明るく、正しく」の精神を忘れずに、乗り越えて生きて行きたいと思

中高卒業生の代表挨拶

みなさんこんにちは。本日は私たち中高卒業生のためにこのような素晴らしい会を開いていただきありがとうございます。ここで学び合った仲間と成人を迎えることを嬉しく思います。

私たちは今年成人を迎え、職業に従事しているものや学業に励むものなど立場は様々ですが一人一人が自分の行動に自信を持ち社会の一員として自信を持って前進していきます。

私はこの新渡戸文化で六年間過ごし、のびのびと青春時代を謳歌しました。のびのびとしたばかりに友達や親、先生方にはたくさん心配や迷惑をかけてしまいました。しかしどんなときもこの新渡戸は私を受け入れてくれました。ここがあつたおかげで今の私があります。ほんとにありがとうございます。

私たちにとって新渡戸文化はかけがえない帰ってくる場所、故郷です。この場所があるから私たちはどこへでも向かっていきます。私たちは自分の進む道に、ここでの学び、また見つけた夢や希望を持ってこれからも進んでいきます。

今後とも何かの形でご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。そして多くの人への感謝の気持ちを忘れず、また成人としての決意を忘れず、3日精神

「活く頭、いそしむ双手、寛き心」の学びを忘れず生きていくことを誓います。

中高卒業生代表
小川優香



参加者の感想

中高卒業生の参加者全員からコメントをいただきました。その一部をご紹介します。

☆今日は楽しかったです!!みんな・先生方に会えてよかったです。

☆五年ぶりにみんなに会えてうれしかったです。先生や中学のお友達と昔の話をできて、とても良い機会でした!!

☆行こうかどうか迷っていたけど、十分楽しめると同時に、二十歳の姿の生徒や先生と



会えることができて、行つてよかったと思った。
☆めっちゃ楽しかったです!
☆高校のみんな、久しぶりに会えた人が多く、一気にあの頃に帰った時間でした。またみんなどこかで会いたい。(笑)



小学校六期生クラス会



二〇一九年11月9日銀座馬菜と言う店でクラス会をしました。オーナーが出席者の息子と言うこともあり、サービスもしてくださり、仲間で集まり一瞬で小学生に戻りました。

当日は同じく高校のクラス会とぶつかり、出席者もそちらに流れたので、七人でしたが、楽しい一時をすごすことができました。

また来年も、11月第二土曜に集まろうと約束して散会しました。来年は高校とぶつからないようにと思っております。

六期生 土田宏子

小学校十一期生クラス会



令和になって初めてのクラス会を11月30日(土)に新宿で行いました。十一期生は今年残念ながら延期となった東京オ

リンピックが前回開催された一九六四年(昭和39年)3月に卒業しました。卒業生に特別卒業生を加えた四十名の内、十六名が参加し楽しいひと時を過ごしました。

卒業してから二十歳代までは幹事を交代しながらよく集まっていました。三十歳代になると仕事や子育てに忙しく、集まる機会が減っていききました。またクラス全員から人望の厚かった岸本哲夫君が若くして亡くなったことも一因であったかもしれません。

このままではバラバラになつてしまふという意見もあり、住所録を再整備して子育てや仕事も目途がたつてきた五十歳代に再会し、今ではほぼ毎年集まっ



写真説明

写真の裏には、「1972年9月22日 K. Kawamura」と、河村孝一氏のサインがあった。

右端の一番前に立っておられるのが、鈴木光雄先生(1978年没)。

最後列右から、森本晴生(3期生)、永山義夫先生(2017年没)、3人

とんで、森本光生(1期生)。

左側、後ろから2列目は、中島栄司先生。

はじめての小羊会

コロナ禍で行事が中止となり紙面に余裕が出てきたとき、一人の編集委員が、一枚の古い写真を持ってきた。

私立小学校には同窓会が必要不可欠と、開校以来小学校教員に尽力された鈴木光雄先生の肝いりで「はじめての小羊会」が開催された。四十八年前のその時の写真であった。

小学校の記録写真

東京文化小学校の記録写真は、写真屋さんを依頼したり、先生方が交代で担当したりしていました。私の担任で後に校長になられた鈴木光雄先生の写真は学年内で定評がありました。ある時から小学生のお父様が担当してくださるようになりました。河村孝一さんで、運動会、文化祭などの校内での行事のほか、遠足や夏期学校にも同行して、カメラ二台を首にかけ、状況によってレンズやフィルムの違うカメラに持ち換えて写真を撮る方でした。

初めは白黒写真でした。行事が終わって数日後に、プリントしてアルバムに整理したものを小学校に届けていたのだというのです。やがてカラー写真に変わり、動画を撮るために八ミリカメラが加わり、河村さんはカメラを持ち換えながら撮影を続けていました。ビデオカメラが使われるようになる前のことです。

私は、大学生の頃なので、あまり小学校に顔を出していませんでしたが、河村さんには時々校内でお目にかかりました。五十年ほど前のことなので、いくつかの話が混ざっているかもしれません。

十一期生 河原英一

三期生 森本晴生

第一回 臨検・リブラ臨床検査学研修会

新渡戸文化短期大学教授 横尾智子

■会発足の経緯

リブラ会は、総会に代わる会として表記の会を新渡戸文化短期大学臨床検査学研究所と共催で、令和元年11月16日(土)に開催しました。(写真次頁)

幹事会で聞かれた意見を、幹事長の小栗豊子先生が本学臨床検査学科の学科長でいらした伊藤昭三教授に相談を持ちかけられたことから、新渡戸文化短期大学臨床検査学研究所との共同の開催が決まり、第一回の開催に至りました。

■会の内容

三年生の在學生も含めた百十名を超える参加者が集まる盛会となりました。まず、伊藤昭三教授(臨床検査学科 前学科長)より開会が宣言され、小栗豊子先生から開会の主旨についての説明がなされ、続いて在學生から二題、卒業生から三題の演題発表が行われました。

第一部(在學生の発表) 第一席は「大腸Cancer in adenomaにおける複合糖質の組織化学」を菅原萌さんが、第二席は「組織保存状態によるDNAの変化(断片化)」を伴瀬瑛理佳さんが

発表しました。

これらの研究はいずれも新渡戸文化短期大学 臨床検査学科の病理学ゼミで、廣井禎之教授の指導のもとに行われた内容で、一席の演題は臨床検体をを用いた研究で、大腸がんの診断を目的とした研究、二席は種々のDNAの実験の基礎となる重要な部分を取り上げられていました。



左から座長の横尾智子教授、
演者の菅原萌、伴瀬瑛理佳

第二部は卒業生の部として、第一席は、飛知和澄子技師(公益財団法人 日産厚生会玉川病院 臨床検査科)で「喀痰より分離されたCunninghamella bertholletiaeの一例」についての報告でした。カニングハメラ・ベルソレチアは自然環境に生息するキノコ類のカビで、まれに抵抗力の弱ったヒトに日和

見感染することが知られていますが。症例の臨床所見と、このカビの同定のコツを解説されました。参加した在學生に向けた国家試験対策ポイントのお話も小栗先生と共にいただきました。



左から演者の飛知和澄子技師、
座長の小栗豊子幹事長

第二席は「組織適合性検査について——固形臓器移植から臨床研究まで」と題して藤田龍司技師(東京女子医科大学 中央検査部 移植関連検査室)が発表されました。我が国では腎臓、心臓、肺、脾臓などの臓器、骨髄/臍帯血移植が行われてい



左から司会の中村健司教授、
演者の藤田隆三技師

ます。組織適合性試験(クロスマッチ、HLAタイピング・抗体検査)はドナーとレシピエントの間の適合性を調べる重要な検査であり、検査の概要が解説されました。組織・臓器移植は、医療の超先端的な分野であり、日々の業務は研究と重なる部分が多いことも理解できたと思います。

第三席は「見えないものを可視化する——検査技術と研究アイデア」と題して、中村信之技師(国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院 病理・臨床検査科)に発表いただきました。中村氏は長年にわたり病理検査に携わり、認定臨床染色体遺伝子検査師の資格や、医学博士の学位を取得されており、病理組織を用いた遺伝子検査の分野で活躍されています。がんゲノム医療を担う中で、新しい検



左から演者の中村信之技師、
座長の伊藤昭三教授

査法や治療法の開発にも携わり、これらの一端を紹介され、研究の面白さをお話しされました。

■おわりに

会場からは各演題に対し在學生も含め活発な質問が飛びました。終了後に集めた感想では、卒業生から「在學生との交流をもっとしたい」など、在學生から「授業では聞けない話が聞けて面白かった」や「今後の励みになった」など、全体的に「また参加したい」という内容のものが多いことが窺えました。新渡戸文化短期大学の教育は決して国家試験合格だけを目的とはせず、現場に立つてこそ生きる知識や技術はもとより、責任と覚悟と誇りをもって立ち向かえるべく医療人を育てるものでありたいと考えます。将来の活躍場所は、病院、企業、研究所などと多岐にわたりますが、どのような将来にもきっと在學中に会った先輩から受けた刺激が大きく生きることと思います。今後もこの会を是非続けていきたいと思います。

現在、新型コロナウイルスの件で混乱する医療現場でも「いなくてはならない医療従事者の一人」として戦っている多くの卒業生を誇りに思い、在學生と共に応援します。

次回のお知らせは同窓会ホームページにて行います。

臨床検査の現場から (第四回)

患者様の支えとなる
臨床検査技師を目指して

済生会横浜市東部病院

臨床検査部 佐藤京香

(平成31年卒)

当院は、救命救急センター・集中治療センターを備え、横浜市東部地域の中核病院として急性期医療および種々の高度専門医療を提供しております。

私は当院で働き二年目で、輸血検査を担当しています。

輸血検査室では輸血前の検査と輸血用血液製剤の保管・管理を行います。輸血前の検査では①血液型検査(ABO式血液型、Rh式血液型)、②不規則抗体(抗A、抗B抗体以外の抗体。過去の輸血、妊娠などで出現す

ることあり)の検査、③交差適合試験(患者様の血液と輸血する血液を反応させ安全に輸血できるか否かを確認する最後の検査)があります。

これらは患者様の生命に関わる重要な検査なのでとても緊張します。

輸血用製剤の保管・管理では、専用の保冷庫・冷凍庫で二十四時間温度管理のもとで保管します。主な血液製剤は、赤血球液、新鮮凍結血漿、濃厚血小板です。また、自己血の保管・管理も行います。管理は専用のシステムで製剤の入出庫・在庫の管理、患者様の検査データ等を扱います。

検査済みの血液製剤は私たちが手術室等に直接持ち込み、現場の医師や看護師と情報交換を行います。大量出血等で緊迫した臨床現場を直接目の当たりにして、患者様を絶対に救命するのだといった使命感と緊張感が伝わり、チーム医療の一員であることに、さらに広い知識を持つことの重要性を感じています。

輸血検査を自動化したオートビジョンです。
血液型、交差試験、不規則抗体スクリーニングが約20分～30分で可能となりました。(佐藤京香)

春は桜、秋は紅葉と深緑に囲まれた環境で
日産厚生会玉川病院臨床検査部
医療技術部 臨床検査科
村田 彩 (平成23年卒)

当院は、多摩川河川敷に近い高台に位置し、四季の自然を見下ろせる絶好の環境の中にあり、二次救急医療を担う急性期病院として世田谷区の二十四時間医療に貢献しております。病床数は三百八十九床と中規模ですが、気胸研究センター、股関節センター、乳がん遺伝子診断など他にも様々な専門外来を設けています。

臨床検査科は採血業務に加え血液、一般生化学(血清免疫・輸血)、病理、細菌、生理機能に分かれ、夜間・休日体制では、緊急手術にも遭遇するので輸血検査など充分伝達・教育します。生化学検査では、従来の臨床化学検査に加え、自動輸血検査機器(オートソオートビュー)の導



●採血室にて

左:村田 彩(筆者)
中上:上杉優華(平成26年卒)
中下:高橋怜央(平成29年卒)
右:平井純平(平成25年卒)

入により、正確性と安全性の向上、報告の迅速化が進みました。また血液製剤廃棄率の減少と、患者様の安全を守るための輸血後感染症検査の増加に努めています。

血液・一般検査では血液・凝固検査に加えて血液標本作製や鏡検、一般では尿定性、沈渣と体腔液検査も行っています。細菌検査は一般細菌、真菌検査を行っています。

生理機能検査では心電図、肺活量、脳波、神経伝導、超音波全般の検査を行い、患者さまと接する機会が多いため検査のことだけでなく、沢山のことを学ぶことが出来ます。

私たち同窓生は普段から仲がよく、昼休みは業務上一緒にとることは難しいですが、業務終了後に、時折、交流を深め、英気を養うと同時に、医療の目覚ましい進歩・発展に遅れをとることなく、成長していけるよう日々みなで頑張っています。

リブラ会から
大切なお知らせ

リブラ会では毎年、春秋、二回の幹事会(学年幹事の会)を開催しておりますが、昨年から同窓会費の徴収方法が変更されたため、会費収入が激減し、リブラ会の部会費はゼロとなりました。部会費が入るまでは幹事会を休会と致します。

総会に代わる会員相互の親睦を図る会として、「臨検・リブラ臨床検査学研修会」を毎年秋に新渡戸文化臨床検査学研究所以と共同で立ち上げました。昨年11月に開催の第一回は本誌に掲載しました。本年も開催の予定ですが、新型コロナウイルスの影響で未定となっております。今後の会員への連絡は、費用節約のため、同窓会のホームページでご覧いただきたいと思います。

リブラ会 小栗 豊子



第1回研修会で講演を拝聴する同窓生と在生。

日帰りバス旅行 楽しく終了

令和元年9月12日(木)に、御殿場・山梨方面に日帰りバス旅行をしました。

中型サロンスバスを仕立てましたので、ゆったりと楽しい旅行でした。お昼は、遊季庭かわ嶋でいただき、ワイナリー工場の見学など充実していました。



同窓会会費・寄付金納入のお願い

同窓会では、会報誌「泉」発行、各種行事の開催など、また、学校に対しては寄付、生徒・学生には奨学金制度を設立し授業料の援助など、同窓生はもとより、母校や後輩たちに対しても大きな関わりを持って活動しております。

同窓会の活動を支える財源は、皆様からの会費収入及び寄

付金によるものです。その点をご理解いただき、同封の振込用紙にてお納めくださいますようお願いいたします。すでに会費を一括納入されていた方に封入されていた場合には破棄してください。手違いをご容赦ください。

ご不明な点は

同窓会事務局 鈴木まで



高校・昭和48年卒業の学年会

2019年(令和元年)10月22日に、岩館先生と堀越先生をお招きして、5年に一度の学年会を行いました。次回は3年後を約束しました。

幹事様、ありがとうございました。

テレビには「皇后雅子さま皇居を出発」とあり、この日は、即位礼正殿の儀が行われた祝日でした。

編集後記

4月7日発令の緊急事態宣言は5月25日に解除されたが、同窓会で企画した〇の会と小羊会は、中止。代議員総会も開催できず、理事会では書面によって会計報告の承認を頂くという変則的な運営をせざるを得なかった。この間、『泉63号』は三密を避けて編集会議を実施し、今日発行に至った。肩の荷が下り、ほっとした。(M・M)

クラス会などを開催されましたら、ぜひご報告ください。卒業校・卒業年・簡単なコメント・掲載可能な写真等を添えて事務局までお寄せください。
本誌『泉』に掲載させていただきます。

住所・氏名等を変更された方は、同封の名簿訂正用葉書またはEメール・FAX・電話等でご連絡ください。
《事務局開室時間》
毎週月・水・金10時～15時
※8月と年末年始等には休業期間があります。



同窓会
事務局より